

2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 キッズプロジェクト「横浜こどもスポーツ記者」 6人の小学生が記者・カメラマン体験!



2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会は、「横浜こどもスポーツ基金」を活用し、キッズプロジェクトを実施。その一環として「横浜こどもスポーツ記者」を募集した。今年、小学5・6年生の男女6名の記者が誕生し、取材・カメラマンの現場体験をおこなった。

今回で7回目を迎えた「2016世界トライアスロンシリーズ横浜大会」。世界各国から集まったトップアスリートが、山下公園やみなとみらい地区など横浜の観光地を舞台に繰り広げられる熱戦は、この季節の風物詩となっている。

そのような中、「横浜こどもスポーツ記者」の事業に参加したのは、金子佑実さん・千竈心さん・田樹莉さん・林希望さん・原田ともひろさん・山口凜さんの6名。



「横浜こどもスポーツ記者」の事業に参加したのは、金子佑実さん・千竈心さん・田樹莉さん・林希望さん・原田ともひろさん・山口凜さんの6名。まずはカメラと仲良くなるう

最初のプログラムは、カメラの使い方、説明、ほとんどの参加者が、一眼レフカメラを持つのは初めて...という中、株式会社ニコンイメージングジャパンから「デジタル一眼レフカメラD3300」をお借りして撮影を行った。

基本的なカメラの使い方の説明を行い、「あまり緊張しないで、最初は好きなものにレンズを向けて、シャッターを押してみよう」とやさしいアドバイスを送る同社広報宣伝部の甲谷匠さん、浅野耕一さん。カメラの使い方、少し慣れてきたところで実践体験となった。

「横浜こどもスポーツ記者」の事業に参加したのは、金子佑実さん・千竈心さん・田樹莉さん・林希望さん・原田ともひろさん・山口凜さんの6名。まずはカメラと仲良くなるう

それでも速いスピードで動く被写体の撮影方法のアドバイスを受けると、徐々にイメージに近い写真が撮れるようになってきた。

上田藍選手がバイクで順位を上げていくと、テンションが上がって、ゴール付近へ移動して応援、上田選手が3位でフィニッシュすると、周りの観客と一緒に喜んでいた。



特別な場所での取材体験

今回、写真の撮影を中心に、地元横浜で開催された世界最高峰のトライアスロンの大会で取材体験を行った「横浜こどもスポーツ記者」。

「うまく撮れたよ」と見せてくれる写真はどれも素晴らしい出来栄で、その上達ぶりには驚くばかりだった。

走るバイクにあわせてカメラを振る、流し撮りのテクニクを甲谷さんから教わると、「難しい」などと言いつつ、何度かチャレンジ。

横浜こどもスポーツ基金とは?
「横浜こどもスポーツ基金」は、障害のあるこども達へ「スポーツ」を通じて、夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを行うことを目的に創設されました。詳しくはHPをご覧ください。
詳細は [横浜こどもスポーツ基金](http://yokohama-csf.jp/) 検索
URL <http://yokohama-csf.jp/>

スポーツ施設を探したい!
スポーツの仲間を増やしたい!
そんな時は
横浜スポーツ情報サイト三
ハマスポ
2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会
5月13日(土)・14日(日)
開催決定!!
ITU
WORLD TRIATHLON
YOKOHAMA